

2022年5月31日

## 日本特許における異常表記

アジア特許情報研究会:伊藤徹男

### 1. はじめに

これまで中国大陸特許（簡体字）の英訳情報は（人間翻訳ゆえの）誤訳や誤記（スペルミス）が台湾や韓国など他国英訳情報に比べて多く、その英訳情報の不備（欠落）は中国語で検索補完することが必要なことを紹介してきました。

しかし、日本特許においても誤記と言わざるを得ないような表記（ここでは異常表記と定義します）が存在することを2006年～2012年までの「化学分野における特許調査」セミナーで紹介してきました。そこでは異常表記の各種パターンをみの紹介でしたが、今回は各種パターンについて発明の名称(TI)、要約(AB)、請求項(CL)、詳細な説明(DE)の各フィールドの出現数をJ-PlatPatから求めました（その出現数はすべて2022年5月29日現在のものです）。

この日本特許における異常表記の最初のプレゼンは2003年のJIPA(日本知的財産協会)の夏季セミナーでした。まだ知財情報の世界に駆け出した頃（ちょうど20年ぐらい前）で「こんなこと（異常表記）が許されるのか？」と興奮したものでした。

もちろん、単なる誤記もありますが、恣意的に表現しているとしか思えないものがいくつも存在します。

その後、同様の内容のものが2011年のINFOPROで紹介され、私のセミナー資料の引用もなく、改めて驚きました。知財情報の重鎮によると『セミナー（資料も含め）や学会発表は関係者のみが参加するものであり、誰でも入手できる情報とならないため、いわゆる「グレー文献」に当たり、「先行文献」としては微妙なもの』だそうです。公刊されていない会員のみ頒布される学術雑誌なども「グレー文献」に当たる、ということです。

INFOPRO2011の発表では、私と異なる観点からの事例もいくつかあり、参考になりました。

そこで先行文献として位置付けられるよう、誰でもいつでもどこからでもアクセスできるWEB資料として（自分自身の備忘録も兼ね）「検索 Tips」として残すこととしました。2018年8月には検索 Tips「日本特許の特殊表記」としてほぼ同様の内容のものをPPTで紹介しています。今回は少し煩雑とはなりましたが、異常表記の各パターンについてその出現数も求め、改訂版としました。

「全文中に数件存在するだけ」の実務的にはほとんど役に立たない情報も含まれますが、権利侵害調査や無効化資料調査では場合によりこのような異常表記まで調査することが求められます。

紹介しているのは主として化学分野のカタカナ表記例がほとんどですが、他分野についても同様に存在するものと思います。また、検証した J-PlatPat だけでなく、商用データベースでも同様だと思っています。

但し、以下で紹介する「濁音、半濁音 4 バイト文字」については 2015 年 3 月までの IPDL では存在していましたが、2015 年 3 月以降の J-PlatPat では解消されています。

IPDL および当時のパテントマップガイダンスにおいては拗音と清音は別々に抽出されましたが（フィルム（ィが拗音）とフイルム）、J-PlatPat ではいずれで検索しても同じ出現数を示すこととなりました。商用データベースでは以前から J-PlatPat 同様、拗音も区別せずに抽出されるデータベースも存在しました。

## 2. 英語由来用語の日本語表記

次項以降で紹介する異常表記とは異なり、英語表記を日本語でどう表記するかは昔から日本語の異表記として取り上げられていますが、いちおう改めていくつかを例示しておきたいと思います。言うまでもなく、特許情報検索における用語検索では原語に関わりなく上位概念を含めた類義語や同意語および以下のような異表記などを考慮しながら調査することが当然となっています。

### LITHIUM or Li

- ★リチウム TI 24635/AB/ 54387/CL 87757/DE 639899
- ★リチュウム TI 6/AB 113/CL 163/DE 2050
- ★リチューム TI 16/AB 111/CL 120/DE 1538
- ★りちうむ TI 0/AB 0/CL 0/DE 1 (特開 2010-165355)

### PERFLUORO

- ★パーフルオロ TI 1145/AB 9528/CL 22051/DE 166184
- ★ペルフルオロ TI 730/AB 2891/CL 9903/DE 42229

### OXIDE

- ★オキサイド TI 1245/AB 19055/CL 30254/DE 447520
- ★オキシド TI 3314/AB 23179/CL 58160/DE 490444

## CARBOXY(CARBOXYL)

★カルボキシ TI 3971/AB 64421/CL 172454/DE 935691

★カルボキシル TI 980/AB 39547/CL 97060/DE 503018

## HYDROXY(HYDROXYL)

★ヒドロキシ TI 16678/AB 113402/CL 280764/DE 1240634

★ヒドロキシル TI 1226/AB 20633/CL 74046/DE 373299

旧 IUPAC 命名則では **carboxyl**(カルボキシル)、**hydroxyl**(ヒドロキシル)とされていますが、現在では **hydroxy**(ヒドロキシ)、**carboxy**(カルボキシ)に統一されています。しかし、特許公報上は、現在もなお、カルボキシル、ヒドロキシルという表記も存在します。また、ヒドロキシ基(**hydroxy group**)は水酸基とも呼ばれます。

## SULFONYL

★スルホニル TI 2484/AB 14634/CL 62520/DE 287753

★スルフォニル TI 49/AB 497/CL 2307/DE 23752

## ISOCYANATE

★イソシアネート TI 3269/AB 48094/CL 73667/DE 356803

★イソシアナート TI 424/AB 3974/CL 6310/DE 52890

しかし、本稿で紹介するのはこのような同義語（異表記）ではなく、異常な表記のものです。恣意的に表記したものであるとすれば問題です。

### 3. 濁音、半濁音 4 バイト文字

2015 年以前の IPDL や一部の商用データベースでは、濁音や半濁音を「ローマ字入力」するか「かな入力」するかで同じように見える用語もそれぞれ異なる検索結果を示しました。

例えば、特開 2003-195414 の要約 (図 1) では「ア<sup>ゝ</sup>プ<sup>゜</sup>タ」などカタカナが半角のように表記されています。半角で表記されていても「カ<sup>ゝ</sup>ラ」などは「ローマ字入力」でも「かな入力」でも検索結果は同じですが、「ア<sup>ゝ</sup>プ<sup>゜</sup>タ」のように濁音(タ<sup>ゝ</sup>)や半濁音(フ<sup>゜</sup>)はローマ字入力の「ダ」や「プ」では検索できず、カナ入力で「タ<sup>ゝ</sup>」「フ<sup>゜</sup>」と入力する必要がありました。検索では半角のア<sup>ゝ</sup>プ<sup>゜</sup>タでも全角のア<sup>ゝ</sup>フ<sup>゜</sup>タでも同じです。

「ダ」や「プ」はそれぞれ 2 バイトですが、「タ<sup>ゝ</sup>」や「フ<sup>゜</sup>」は濁音(ゝ)や半濁音(゜)だけで 2 バイトを占め、「タ<sup>ゝ</sup>」や「フ<sup>゜</sup>」はそれぞれ 4 バイトとなっています。



た(図2)。ローマ字入力では、「シ」と「」で「シ」などとする必要がありました。(こ  
こでも検索では半角のポリアジエンでも全角のポリアジエンでも結果は同じです)

さらに、この公報の問題は、同じ要約中の発明のキーとなる「ポリアジエン」以外の「ベ  
ルト」「ゴム」などの濁音文字はローマ字入力でも検索できる点です。また、先ほどの例と違  
って請求の範囲でも「ポリアジエン」の濁音、半濁音が4バイト文字となっていること  
です。まさに検索逃れを意図して出願されたもの、と言えなくもありません。

実は、この公報の存在は、調査依頼者である研究者から「今回の検索結果から(ポリアジ  
エンと記述された)手元にある一連の特許が含まれていませんが・・・」と指摘があつて気が  
ついたものでした。半角表記では「ポリアジエン」も「ポリアジエン」も同じに見えますから  
何故、検索漏れがあつたのか気づくまでに少し時間がかかりました。

そこでこのような濁音、半濁音4バイト文字がどのくらい存在するかを2003年に調べ、  
2011年に更新したものが図3です。したがって、これらの公報を発見した2003年以降は、  
濁音、半濁音4バイト文字も異表記の1つとしてOR検索することになりました。

「ポリマー」と「ポリアマー」は検索結果が違ったのです。

式NO.	コマンド入力欄	特許	実案
#001	HTC=カ +キ +ク +ケ +コ	1327	41
#002	HTC=サ +シ +ス +セ +ソ	1190	38
#003	HTC=タ +チ +ツ +テ +ト	1801	48
#004	HTC=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	1644	49
#005	HTC=ウ	3	0
#006	HTC=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	1975	69
#007	HTX=カ +キ +ク +ケ +コ	11021	120
#008	HTX=サ +シ +ス +セ +ソ	12382	112
#009	HTX=タ +チ +ツ +テ +ト	17528	205
#010	HTX=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	15859	142
#011	HTX=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	16680	162
#012	HTX=ウ	299	2
#013	HTC=カ +キ +ク +ケ +コ	11	2
#014	HTC=サ +シ +ス +セ +ソ	4	0
#015	HTC=タ +チ +ツ +テ +ト	31	2
#016	HTC=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	14	3
#017	HTC=ウ	7	1
#018	HTX=カ +キ +ク +ケ +コ	2807	34
#019	HTX=サ +シ +ス +セ +ソ	4341	22
#020	HTX=タ +チ +ツ +テ +ト	16615	45
#021	HTX=ハ +ヒ +フ +ヘ +ホ	5634	34
#022	HTX=ウ		

図3. 濁音、半濁音4バイト文字の存在数

この濁音、半濁音 4 バイト文字異表記も 2015 年の J-PlatPat でシステム的に解消されたようですので、現時点では問題にする必要はありません。(解消されていることに気がついたのは 2018 年 8 月に検索 Tips として整理した際の検証です)

すべて同じ入力方法(「ローマ字入力」か「かな入力」か)で統一された明細書であれば、問題にしません。恣意的に混在させたような上記公報例などはいかがなものでしょうか。特に、同一要約中、同一請求項中に「ローマ字入力文字」と「かな入力文字」が混在しているようなケースは発明者の良心を疑ってしまいます。

#### 4. 濁音、半濁音 4 バイト文字の特殊表記

驚くべきことに「アゝ、イゝ、ウゝ」などの濁音表記も存在しています。公報中では誤記と思われるものが多いのですが昔から存在したのでしょうか。この点については未検証です。

「シフト JIS で利用できない濁点付き仮名」

<https://glyphwiki.org/wiki/Group:%E3%82%B7%E3%83%95%E3%83%88JIS%E3%81%A7%E5%88%A9%E7%94%A8%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%AA%E3%81%84%E6%BF%81%E7%82%B9%E4%BB%98%E3%81%8D%E4%BB%AE%E5%90%8D>

以下にその出現数を挙げました。電子出願以前の OCR の読み取り不良または誤記、あるいは外国からの出願における機械翻訳日本語不良なども多いようです。特に、機械翻訳日本語不良では公報の内容を判読できない(意味不明な)ものも少なくありません。

★あゝ                    TI 0/AB 0/CL 446/DE 41741

★いゝ                    TI 0/AB 0/CL 1807/DE 72582

いゝ ずれか(特表 2008-524387)

★うゝ                    TI 0/AB 4/CL の 315/DE 16073

外気の温度うゝ あい時(特表 2000-511988)

かごうゝ つ (特開 2010-215652)                    化合物?

うゝ あいおりん(特開 2000-020511)

★えゝ                    TI 0/AB 2/CL 372/DE 14579

★おゝ                    TI 0/AB 0/CL 819/DE 23992

★アゝ                    TI 1/AB 2/CL 634/DE 28944

ゝ マルチメディアゝ (特表 2000-502795)    強調記号が検索される・・・

ゝ アゝタゝ (特開 2003-195140)    「アゝタゝ」は「アゝタゝ」の誤記と思われるが。

ア` ロック本体(特開 2012-031715)は「ブロック本体」の誤記か?

- ★イ`           TI 0/AB 3/CL 1950/DE 78450  
      ヴィ` ニルシクロヘキセン(特許 3817573)  
      ハイブリタイ` ゼーション(特開 2004-156925)  
      光ファイ` ケーブル(特開 2003-295017) 「光ファイバケーブル」の誤記か?  
      「後方にイ` 同」           「後方に移動」の誤記か?
- ★ヴ   TI 604/AB 3465/CL 10341/DE 1074108   ヴ ⇒ ブ (ぶ)
- ★ヴァ           TI 0/AB 1/CL 1/DE 99  
      ヴァルデナフィル(特表 2009-536669) ⇒ バルデナフィル  
      作製するヴァ藍(特開 2010-235772) ⇒ 「作製する場合の誤記か?」
- ★ヴィ           TI 0/AB 0/CL 1/DE 338  
      I ん ヴ ィ t ろ げ n 社(特表 2008-535848) ⇒ I n v i t r o g e n 社  
      固定すれヴィ(特開 2014-095281)
- ★ヴェ           TI 0/AB 0/CL 0/DE 103  
      おヴェがヒドロキシラーゼ(特表 2009-508091) ⇒ 「オメガ」の誤記?
- ★ヴお           TI 1/AB 2/CL 5/DE 184  
      モレキュラー・シーヴお(特開平 06-277519) ⇒ モレキュラー・シーブ  
      帆ヴお(特開 2019-123241)・・・意味不明 (ほぼ?)
- ★ヴァ           TI 164/AB 771/CL 2343/DE 389855           ヴァ ⇒ バ (ば)  
      ヴァーチャルグリッド(特開 2021-065006)
- ★ヴィ           TI 270/AB 1806/CL 4198/DE 466274           ヴィ ⇒ ビ (び)  
      ヴィールス(特開 2021-016760)
- ★ヴェ           TI 59/AB 364/CL 1481/DE 399465   ヴェ ⇒ ベ (べ)  
      ヴェポライザーシステム(特開 2022-008578)  
      メンブレンヴェシクル(特開 2020-176221)
- ★ヴォ           TI 54/AB 233/CL 635/DE 83401   ヴォ ⇒ ボ (ぼ)  
      ヴォン・ヴィレブランド病(特表 2015-522527)
- ★エ`           TI 1/AB 0/CL 139/DE 8662  
      プロピルエ` ーチル(特表平 07-507269)  
      オクタンエ` (特表平 07-503806)  
      機械翻訳によるものであろうか、この公報には判読不能な表現があちこち  
      「3-ブチル-1, 3-オクタ 1, 3-エン」
- ★オ`           TI 0/AB 0/CL 358/DE 19035  
      カチオ` ン界面活性剤(再表 93/014896)

尚、ヴぁおよびヴァ(バ, ば)、ヴぃおよびヴィ(ビ, び)、ヴ(ブ, ぶ)、ヴぇおよびヴェ(べ, べ)、ヴぉおよびヴォ(ボ, ぼ)などと拗音を含まない表記として表現されることも以下の公報で示されているように表記の指針として認められているようです。

#### 「日本語入力装置および方法(特開 2000-020511)」

コンピュータへの日本語入力に関し、特になかな変換を介してかな漢字交じりの日本語を入力する技術に関する。

詳細な説明中では「平成3年6月28日に公表された内閣告示「外来語の表記」

「ヴァ」「ヴィ」, 「ヴ」, 「ヴェ」, 「ヴォ」のような「表記の揺らぎ」を、「バ」, 「ビ」, 「ブ」, 「ベ」, 「ボ」と同一視するように扱うものもある。また、同様に、「ウィ」, 「ウエ」, 「ウオ」は、「ウイ」, 「ウエ」, 「ウオ」とし、「(イ) アー」や「(エ) アー」を「ヤー」(例えば、「コンベアー」を「コンベヤー」と同一視することも行われることがある。単語の末尾の長音(ー)についても、また、略す場合に統一する場合もある。とされています。

「濁音、半濁音4バイト文字」の発見を契機に以下のような異常表記の存在についても2006年以降、「化学分野の特許調査」セミナーのイントロ部分でコラムとして紹介してきました。

#### 5. カタカナ表記の一部がひらがなになっている。

一見するとカタカナに見える「リ⇒り」「へ(ぺ)⇒へ(ぺ)」「べ⇒べ」

##### 1) 「リ⇒り」 カタカナの「リ」がひらがなの「り」になっている。

###### ★カリ TI 6/AB 42/CL 73/DE 3181

アルカリ性アルコール(特開平 05-238756)

アルカリ土類金属(特開平 10-279711)

硝酸カリウム(特表昭 62-500516)

###### ★クリ TI 3/AB 13/CL 82/DE 8780

アクリル酸アルキルエステル(特開 2001-081928)

アクリレート、アクリル製品(特開 2015-214694)

ジアクリレート(特開 2011-187744)

インクリボン(特開 2000-272214)

###### ★トリ TI 3/AB 49/CL 186/DE 12439

トリメチルナフタレン(特開 2007-262059)



★**ポ**リ TI 1/AB 17/CL 39/DE 781

有機**ポ**リマー(特開 2010-212580)

**ポ**リエチレンテレフタレート(特開 2003-001773)

**ポ**リペプチド(特開平 08-205871)

★**リ**チウム TI 0/AB 3/CL 47/DE 2306

リチウムイオン二次電池(特開 2019-175651)

★**リ**ポソーム(特開 2018-076356)

★**ス**プリング(特開平 07-001348)

★**イ**ンク**リ**ボン(特開 2000-272214)

「リ⇒り」の存在数

ア**リ**+イ**リ**+ウ**リ**+エ**リ**+オ**リ** TI 4/AB 106/CL 282/DE 17301

カ**リ**+キ**リ**+ク**リ**+ケ**リ**+コ**リ** TI 10/AB 57/CL 208/DE 16299

ガ**リ**+ギ**リ**+グ**リ**+ゲ**リ**+ゴ**リ** TI 0/AB 7/CL 78/DE 5062

サ**リ**+シ**リ**+ス**リ**+セ**リ**+ソ**リ** TI 2/AB 43/CL 158/DE 16329

ザ**リ**+ジ**リ**+ズ**リ**+ゼ**リ**+ゾ**リ** TI 1/AB 23/CL 130/DE 7198

タ**リ**+チ**リ**+ツ**リ**+テ**リ**+ト**リ** TI 6/AB 125/CL 362/DE 32792

ダ**リ**+ヂ**リ**+ヅ**リ**+デ**リ**+ド**リ** TI 1/AB 28/CL 157/DE 8324

ハ**リ**+ヒ**リ**+フ**リ**+ヘ**リ**+ホ**リ** TI 0/AB 11/CL 88/DE 7306

バ**リ**+ビ**リ**+ブ**リ**+ベ**リ**+ボ**リ** TI 10/AB 125/CL 339/DE 10917

パ**リ**+ピ**リ**+プ**リ**+ペ**リ**+ポ**リ** TI 2/AB 28/CL 89/DE 6621

2) 「へ、べ、ぺ⇒へ、べ、ぺ」 カタカナの「へ、べ、ぺ」がひらがなの「へ、べ、ぺ」になっている。

★**へ**リウム TI 2/AB 32/CL 52/DE 1334

**へ**リウム(特開 2020-189757)

★**へ**キサ TI 17/AB 183/CL 2175/DE 128850

シクロ**へ**キサンジカルボン酸(特開 2020-013005)

★**へ**キシル TI 9/AB 128/CL 2001/DE 111839

シクロ**へ**キシル(特開 2022-070321)

★**べ**ンゼン TI 0/AB 71/CL 104/DE 2519

**べ**ンゼン環(特開 2015-191208)

★**べ**ンジル TI 3/AB 34/CL 233/DE 3017

**べ**ンジル基(特開 2017-206673)

**べ**ンジルジメタノール(特表 2017-508851)

過酸化**べ**ンゾイル(特開 2017-193672)

- ★ベンゾ TI 3/AB 49/CL 264/DE 4213
  - ベンゾフェノン(特表 2017-519040)
  - ベンゾフラン(特表 2013-533267)
  - 過酸化ベンゾイル(特開 2017-193672)
- ★ベント TI 0/AB 26/CL 67/DE 949
  - ベントライン(特開 2012-199511)
  - ベントナイト(特開 2009-203444)
- ★ベク TI 5/AB 159/CL 373/DE 4604
  - ベクトル(特開 2018-107563)
- ★ペルフルオロ TI 1/AB 11/CL 71/DE 461
  - ペルフルオロアルキルアクリル酸(特開 2005-325042)

## 6. 見た目が似ているカタカナ

### 1) 「ン⇒ソ」 ンがソになっている

- ★リソ酸 TI 0/AB 0/CL 3/DE 86
  - ステアリソ酸(特開 2004-083596)
  - リソ酸二水素ナトリウム(特表平 07-505875)
- ★キノリソ TI 0/AB 0/CL 4/DE 49
  - カルバモイルイソキノリソ(特表平 07-501817)
- ★ゾリソ TI 0/AB 0/CL 12/DE 262
  - ベンゾチアゾリソ(特開 2016-160434)
  - イミダゾリソ(特表平 05-507279)
- ★ピリジソ TI 0/AB 0/CL 0/DE 72
  - ビニルピリジソ(特開平 09-000918)

### 2) 「ソ⇒ン」 ソがンになっている

- ★リングラフィ TI 22/AB 353/CL 139/DE 10121
  - フォトリングラフィ(特開平 09-252115)
- ★インシア TI 6/AB 46/CL 1827/DE 43147
  - ポリインシアネート(再表 2010/119969)
  - 反応性インシアネート(特開平 06-145411)
- ★インプロピル TI 1/AB 21/CL 245/DE 21056
  - インプロピルアルコール(特開平 07-316327)
- ★インプロペニル基(特開 2019-061943)
- ★カソード TI 0/AB 0/CL 14/DE 362
  - カソード2とアノード3(特開平 04-033267)

★ジオキン TI 0/AB 7/CL 132/DE 3812  
ジオキンピロリジン(特開 2005-187440)

3) 「シ(ジ)⇒ツ(ヅ)」 シ(ジ)がツ(ヅ)になっている 電子出願前のものも多い。

★ツメチル TI 0/AB 0/CL 37/DE 806  
ツメチルスルボキサイド(特開 2001-123106)

★ツエチル TI 0/AB 0/CL 5/DE 200  
ツエチルエーテル(特開平 04-018408)

★ヘキツル TI 0/AB 1/CL 2/DE 32  
シクロヘキツルメチル(特表平 03-505584)

★ヒドロキツ TI 0/AB 0/CL 12/DE 325  
ヒドロキツスクシナート(特表平 04-504409)

★ピリヅン(特開昭 59-118786)

★ツスルフイド化合物(特開平 04-020970)

★1 4-ツオキサン(特開平 04-018443)

★ツクロアルキレン基(特開平 04-194845)

4) 「ツ⇒シ」 ツがシになっている

★マスターペレシト(特開平 04-048694)

★光学ピックアップシプ(特開平 03-116477)

5) 「シ(ジ)⇒ン」 シ(ジ)がンになっている

シクロヘキンル(特表平 06-510792)

ポリヒドロキンブチレート(特開 2010-189649)

アルキルオキン基(再表 2006/077919)

ポリオキンエチレン(再表 95/004724)

1、3-ンオキサン(特表平 07-509343) ジオキサン

6) 「ヅ⇒ジ」 ズがジになっている

ピラジロン誘導体(特表 2005-502763)

ピラジリン誘導体(特開 2003-101031)

7. ひらがな、カタカナ混在文字

1つの用語中にカタカナとひらがなが混在しているもの。やはり化学分野の例示ですが、電機、機械など他分野にもありそう。

- ★ものまー TI 0/AB 1/CL 1/DE 27  
ビニルものまー(特表 2000-507300)同じ要約中に「モノマー」もあり。  
エチレン性不飽和ものまー(特開平 10-292131)
- ★ポリまー TI 0/AB 0/CL 1/DE 21  
ポリまー材(特表平 08-500154)
- ★ぼりエステル TI 0/AB 0/CL 0/DE 4  
ぼりエステル系エラストマー(特開 2000-256971)
- ★あみのカルボン酸 TI 0/AB 0/CL 1/DE 1  
あみのカルボン酸(特表平 11-511767)
- ★あるきる TI 0/AB 0/CL 2/DE 92  
あるきるエーテル(特開 2018-123198)  
あるきるエステル(特開 2003-043724)
- ★エチれん TI 0/AB 0/CL 1/DE 1  
エチれんグリコールモノメチルエーテル(特表 2015-510911)  
えちれんグリコール(特開 2007-154389)
- ★ポリえちれん TI 0/AB 0/CL 0/DE 1  
ポリえちれん(特開平 05-146509)
- ★とルエン TI 0/AB 0/CL 0/DE 15  
ビニルとルエン (特表 2017-515939)  
とルエン 1 1 0 部を仕込み (特開 2011-178880)
- ★びにる TI 0/AB 2/CL 0/DE 58  
びにるポリマー(特開 2017-133019)  
ポリ塩化びにる(特開 2003-137946)
- ★ポリウレタンふいるむ(特表 2005-507437)
- ★ステアリン酸(特開 2011-114331)
- ★チオりん酸 TI 13/AB 85/CL 97/DE 618  
ジアルキルジチオりん酸亜鉛(特開 2021-161382)
- ★んチレン TI 0/AB 0/CL 0/DE 6  
ポリんチレンナフタレート(特開平 11-043591)
- ★しぼうぞくエステル(特開平 09-244230)
- ★シリカげる(特表 2019-517546)
- ★ねんちやくシート(特開 2006-304749)

## 8. ひらがな表記

本来はカタカナ表記であるところをひらがなで表記で、あるいは漢字表記をひらがなで表記されたりしているもの。

外国の出願人が日本語への翻訳の際に使うならともかく、著名な日本出願人による出願にも存在する。もちろん、間違いとは言わないがカタカナも併記されていないと恣意的なものを感じる。

1) 本来はカタカナ ⇒ ひらがな

- ★あるかり TI 0/AB 2/CL 6/DE 1903  
あるかり性媒体(特開平 09-048826)  
あるかり水溶液(特開 2000-313995) 請求項中に「アルカリ水溶液」もあり。
- ★あるきる TI 0/AB 0/CL 2/DE 92  
あるきる基(特開 2021-167417)
- ★あみの酸 TI 0/AB 0/CL 0/DE 2  
あみの酸(特表平 08-503067)
- ★あみの基 TI 0/AB 1/CL 0/DE 4  
あみの基、カルボキシル基、ペプチド結合(特開平 08-209200)
- ★ふろびる TI 0/AB 0/CL 1/DE 4  
あみの-ふろびる(特表 2005-536475)
- ★めちれん TI 0/AB 0/CL 0/DE 4  
めちれん基(特開平 11-109554)
- ★えちれん TI 0/AB 0/CL 1/DE 12  
じめちるえちれんじあみん(特開 2003-206327)  
ぼりえちれん(特開平 11-226586)
- ★ふろびれん(特表平 09-503008)
- ★ぼりまー TI 0/AB 1/CL 1/DE 25  
ぼりまーと異なり(特表平 11-501966)
- ★ぼりうれたん TI 0/AB 0/CL 0/DE 3  
ぼりうれたん含有率(特開平 04-298521)
- ★えらすとまー(特開 2017-191694)
- ★びにる TI /AB 2/CL 0/DE 58 not(るつぼ)  
びにるポリマー(特開 2017-133019)
- ★ふいるむ TI 0/AB 1/CL 1/DE 38  
ポリウレタンふいるむ(特表 2005-507437)
- ★れじすと TI 0/AB 1/CL 0/DE 9  
れじすと層(特表 2007-503123)
- ★ふろていん TI 0/AB 1/CL 0/DE 1  
ふろていんきな一ぜ(特表平 08-509132)
- ★なとりうむ TI 0/AB 0/CL 0/DE 13

じあえんそさんなとりうむ(特開 2011-067161)

2) 本来は漢字 ⇒ ひらがな

- ★かごうぶつ TI 0/AB 1/CL 0/DE 22  
有用なかごうぶつ(再表 2004/009581)
- ★すいそ TI 0/AB 0/CL 3/DE 70  
すいそを放出(特開平 06-281764)  
すいそか(特表 2013-514260)
- ★たんその発色温度(特開平 06-171226)
- ★しょくばいせいぶん(特開平 06-025347)
- ★ほうこうぞく たんそ(特表 2008-544495)
- ★いせいたい(特開 2012-153704)
- ★せつちやくざい(特開平 07-288385)
- ★ひかり回線(特開 2015-082265)
- ★こていする(特開 2002-303738)
- ★はいちする(特開平 11-096583)
- ★けんしゅつする(特開 2003-061312)
- ★せいけいしてなる成形体(特開 2002-155194)
- ★じゅしん(特表 2002-506584)
- ★じょうたい(特開 2005-289504)
- ★しきそ(特開 2012-133962)

3) 本来は漢字 ⇒ カタカナ 1989年以前(電子出願以前)の発明の名称には多い。

- ★シヨクバイエキ(特開 2020-202349)
- ★カゴウブツ(特開 2022-001621)
- ★デンカイコンデンサー(特開平 09-259985)
- ★セッシヨク(特開 2009-140920)

4) 濁音、半濁音が清音になっている。

- ★カルホン酸 TI 0/AB 14/CL 222/DE 9215  
ジカルホン酸(特開 2016-027163)
- ★フロピル TI 0/AB 5/CL 35/DE 3081  
フロピルスルフォン(特表 2018-502923)
- ★フロヒレン(特開平 11-262659)
- ★カップリンク TI /AB 27/CL 102/DE 3486  
シランカップリング剤(再表 2004/070737)

- ★ヘフチド合成(再表 2007/072980)
- ★ヒリジン TI 0/AB 3/CL 28/DE 2314  
ヒリジン(特開 2016-193203)
- ★ヒロリドン TI 0/AB 11/CL 8/DE 892  
ヒロリドン(特開 2000-290848)
- ★ヒニル TI 0/AB 14/CL 300/DE 21599  
ポリヒニルアルコール(特表 2000-511126)  
塩化ヒニル樹脂(特開平 11-062201)
- ★プラスチック TI 0/AB 13/CL 86/DE 3424  
熱硬化性プラスチック(特開 2013-006948)  
プラスチック(特開 2002-097291)
- ★ヘレット TI 0/AB 0/CL 19/DE 1182  
ヘレット作製(特開 2003-040619)
- ★ファイハ TI 2/AB 31/CL 46/DE 1948  
光ファイハ(特開平 06-067101)
- ★クラット TI 6/AB 122/CL 161/DE 4478  
クラット層(特開 2012-098466)
- ★シンクル TI 4/AB 5/CL 18/DE 1034  
シンクルキャリア(特開 2012-016795)
- ★ソルーゲルナノファブリケーション(特開 2021-170123)
- ★ソルゲル法(特開 2020-202325)
- ★ゾルーケル法(特開 2021-099499)
- ★タッチハネル(特開 2000-153088)

9. カタカナに見える漢字が使われている例

見た目は同じカタカナと漢字・・・誤記（間違い）で済むか？

1) 漢数字の「二」がカタカナの「ニ」として使用されている。

- ★ニトリル TI 0/AB 16/CL 238/DE 8612  
アクリロニトリル(特開 2002-187988)  
ニトリルゴム(特開 2019-172750)
- ★ニッケルコバルト(特開 2012-175093)
- ★フェニル(特開 2016-094475)
- ★窒化アルミニウム(特開 2018-181944)
- ★アニール(特開 2011-016714)

2) カタカナの「ニ」が漢数字の「二」として使用されている。

★ニ酸化 TI 1/AB 59/CL 155/DE 2737

ニ酸化炭素(特開 2014-152219)

ニ酸化ケイ素(特開 2018-184483)

★ニ硫化 TI 0/AB 8/CL 42/DE 589

ニ硫化炭素 特開 2016-141670

★ニ水素 TI 0/AB 7/CL 58/DE 1267

リン酸ニ水素イオン(特開 2014-116276)

★ニ価 TI 1/AB 13/CL 69/DE 759

ニ価アルコール(特開 2012-107366)

★ニりん酸(特開 2017-123316)

★ニリン酸ニカルシウム(特表 2021-521285)

3) カタカナが漢字に代替している。

3-1) カ(ちから)がカタカナのカとして使用されている。

★カリウム TI 0/AB 0/CL 5/DE 1130

ソルビン酸カリウム(特表 2014-506229)

カリウム炭酸塩(特開 2002-126528)

★カルシウム TI 0/AB 1/CL 30/DE 2203

過酸化カルシウム(特表 2019-530250)

★カルボン酸 TI 0/AB 3/CL 40/DE 1930

不飽和カルボン酸(再表 2019/065704)

★カルボキシ TI 0/AB 0/CL 48/DE 3756

カルボキシ(特表平 06-511477)

★デカンジアミン(特開 2022-026676)

★カソード TI 0/AB 3/CL 39/DE 1160

カソード(特開 2007-312531)

3-2) ト(ボク)がカタカナのトとして使用されている。

★ト(ボク) TI 24/AB 481/CL 1530/DE 91766

★トルエン TI 0/AB 1/CL 1/DE 68

トルエンスルホン酸(特開 2022-081702)

★トリ TI 1/AB 13/CL 120/DE 1041

トリクロロシラン(特表 2015-536298)

★キトサン(特開 2021-065224)

★シャフト(特開 2020-112177)



- ★ベント(特開 2018-126934)
- ★排出ポート(特開 2018-020924)
- ★トランジスタ(特開 2(特開 2011-178827)015-175010)
- ★マトリックス相(特開 2011-178827)

3-3) 八 (漢数字) がカタカナのハとして使用されている。

- ★八ロゲン TI 0/AB 0/CL 16/DE 487
  - 八ロゲン原子(特開 2011-093965)
  - 八ロゲンランプ(特開 2008-216444)
- ★低級八ロアルキル(特開平 03-170434)
- ★八イドロ TI 0/AB 0/CL 0/DE 568
  - クメン八イドロバーオキサイド(特開平 04-183734)

3-4) 工 (漢字) がカタカナのエとして使用されている。

- ★エタン TI 0/AB 0/CL 2/DE 356
  - ジメトキシエタン(特開 2010-231950)
  - ジクロルエタン(特開昭 60-019732)
- ★エチル TI 0/AB 0/CL 12/DE 2732
  - エチルアクリレート(特表 2001-509195)
  - カーボン酸エチルダイエステル(特開 2007-226178)
  - 酢酸エチル(特開 2013-095887)
- ★エチレン TI 0/AB 2/CL 76/DE 4903
  - エチレンオキシド(特開平 11-140152)
- ★エポキシ TI 1/AB 3/CL 26/DE 1603
  - エポキシ系接着剤(特開 2021-103608)
- ★エステル TI 0/AB 0/CL 51/DE 3774
  - エステル(特表平 06-505715)
- ★エッチング TI 0/AB 0/CL 8/DE 993
  - 異方性エッチング(特開 2000-079693)

・・・その逆は？

- ★エ学 TI 0/AB 0/CL 1/DE 77
  - インバータエ学(特開 2019-193499)
  - データエ学(特開 2012-059230)
  - フォトニクスエ学(特開 2008-218947)
- ★エ程 TI 0/AB 24/CL 273/DE 8095

エッチング工程(特開 2013-221818)

アニール工程(特開 2002-268554)

3-5) タ (漢字) がカタカナのタとして使用されている。

★エタノール(特開 2009-076619)

★メタノール(特開 2006-144013)

★ジアミノナフタレン(特開 2020-129524)

★タイ TI /AB 9/CL 26/DE 840

タイムコード(特開 2006-337380)

タイミング(特開 2022-011168)

タイヤ(特開 2005-254992)

★タン TI /AB 5/CL 24/DE 1943

タングステン(特開 2006-122792)

タンパク(特開 2006-043611)

タンク(特開平 09-169391)

チタン(特開 2004-172287)

★ポリエチレンテレフタレート(特開 2018-140970)

★パターンニング(特開 2004-004912)

★スパッタ(特開 2013-200958)

3-6) 千 (漢字) がカタカナのチとして使用されている。

★メキル TI 0/AB 0/CL 29/DE 4352

メキルビニルエーテル(特開 2002-148366)

★エキル TI 0/AB 0/CL 2/DE 1638

エキルトルエン(特表平 06-509608)

★ブキル TI 0/AB 0/CL 5/DE 1347

ブキルフェニル基(再表 94/010216)

★エ千レン TI 0/AB 0/CL 4/DE 508

エ千レンゲリコール(特開平 04-204701)

エ千レンオキサイド(特開平 03-215514)

★ヌクレオキド配列(特表平 06-508764)

★千オ TI 0/AB 0/CL 65/DE 9306

千オグリコール酸(特表平 06-503584)

千オアルコール(特開平 04-202203)

★千タン(特開平 04-200447)

3-7) ロ (漢字) がカタカナのロとして使用されている。

- ★クロル TI 0/AB 0/CL 3/DE 433  
エピクロルヒドリン(特開 2022-065196)  
クロルトリフルオルエチレン(特表平 06-501051)
- ★クロロ TI 0/AB 0/CL 6/DE 656  
ジクロロベンゼン(特開 2020-038133)  
クロロビスフェノール(特開 2018-037526)
- ★シリルクロリド(特開平 04-149153)
- ★フルオロ TI 0/AB 0/CL 40/DE 2218  
フルオロポリマー(特表平 07-502685)  
フルオロ酪酸(特表平 05-501198)
- ★シクロ TI 0/AB 1/CL 24/DE 2299  
シクロアルキル基(再表 2018/186374)
- ★アクリロニトリル TI 0/AB 0/CL 7/DE 614  
ポリアクリロニトリル(特開 2020-038133)
- ★ロイシン(特開 2008-155014)
- ★セルロース誘導体(特開平 11-319402)
- ★ナイロン6. 6(特開 2009-050302)
- ★マイクロカプセル化(特開 2017-008180)

最初のロだけが漢字のロになっている例

- ★ジクロロメチル基(特開 2006-313303)
- ★クロロプレンゴム(特開 2004-038208)

単純な誤記と思われるものも数多い。

エリアりおける ⇒ エリアにおける  
樹脂硬化物出アリ ⇒ 樹脂硬化物であり  
パテントテン酸 ⇒ パントテン酸  
データバックアップ方法及びバックアップシステム

## 10. まとめ

上記の異常表記も同一フィールドに正常な表記が存在し、検索で支障なく抽出されるのであれば問題にすることは無い。

正常表記が併記されている異常表記を見てみると

例えば、「5. 1) アルカリ」と「8. 1) あるかり」の表記について同一フィールドに

それぞれ異常表記がどのぐらい存在するかを見ると

5. 1) アルカリ **リ** TI 0/AB 19/CL 35/DE 623  
アルカリ **リ** not アルカリ TI 0/AB 7/CL 8/DE 15
8. 1) あるかり TI 0/AB 2/CL 6/DE 1903  
あるかり not アルカリ) TI 0/AB 2/CL 2/DE 1814

「5. 1) アルカリ」の場合には、「アルカリ **リ**」の「リ」のみ異常な表記となっているものは正常表記の「アルカリ」が併記されているものを除くとかなり少なくなっているが、「8. 1) あるかり」のひらがな表記については正常表記の「アルカリ」が併記されていないことが多い。したがって、一般にはカタカナ表記のキーワードはひらがなも異表記として検索式に入れたほうがよさそうであることがわかる。

以上、かなり特殊な表記（異常表記）についてセミナーでは各種パターンのみ紹介してきたが、本稿では各パターンの代表例もいくつか挙げて各フィールドにおける出現数も示した。とは言え網羅した訳でもないのでも他にも異常な表記が存在するものと思うし、化合物の様々な表記だけでも異表記を揃えるのは大変である。

検証作業を進めればもっと面白そうな例にも出くわしそうでわくわくするが、日本特許に対する関心も現状では薄れているので更なる検証の予定はない。

したがって、具体的なテーマで（特にカタカナをキーワードとしたときには）上記パターンに該当するキーワードを扱う時には各パターンと同様の異常表記がないかどうかを事前に調べて検索式に盛り込むなどを実行することが有効ではないかと思う。

また、1990年（平成2年）12月より電子出願を開始し、2005年（平成17年）10月からインターネット回線を利用した電子出願を開始したことから、電子出願以前の公報の多くはPDF公報などからOCRで読み取ったものも多く、スペルミスや意味不明の内容になっているものがある。

権利侵害調査では出願から20年以上経過したようなものは無視できるので、現時点では2001年～2005年出願分の異常表記に留意すればよいことになる。

しかし、無効化資料調査では、電子出願の有無に拘わらず過去分すべてを対象にするので「スペルミスや意味不明の内容の公報」もその対象になる。

逆に、電子出願以降の公報中の上記異常表記については誤記では済まされない恣意的なものを感じる。明細書を作成した発明者等にその真意を糺したいものである。

中国大陸特許（簡体字）検索で「内视镜」が「内视镜」で検索できない（単にフォントの違いではなく）、という状況に遭遇し、「内」は「内」の異体字ですよ」と1昨年、日中韓辞典研究所の春遍雀來（ハルペン・ジャック）さんに教えていただきました。中国語研究の情報交換で埼玉の春遍さんの事務所を訪れたのは、もう10年も前のことでしたが、最近、再び情報交換する機会を得ました。彼は数十年にわたり日本人以上に日本語を研究している国語研究者です。

## 1 1. 参考文献

- 1) 春遍雀來：包括的な日本人名異表記データベース

<http://www.kanji.org/cjk/samples/jnamevarj.htm>

- 2) 春遍雀來：日中韓各語の知的情報検索に於ける辞書を用いた異表記処理

[http://www.kanji.org/cjk/reference/cjkvar\\_j.doc](http://www.kanji.org/cjk/reference/cjkvar_j.doc)

- 3) 春遍雀來：知的情報検索を主眼とした日本語異表記データベースの研究開発

<http://home.jeita.or.jp/is/committee/tech-std/knowledge/old/PDF/2003/Halpern1.pdf>

- 4) 甲田彰：科学技術文献検索システムにおける異表記対応について

[http://www.dl.slis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No\\_31/2-kouda/2-kouda.html](http://www.dl.slis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No_31/2-kouda/2-kouda.html)

- 5) 藤井敦、田中るみ子：特許検索における化学物質名の異表記同定に向けた考察(JAPIO YEARBOOK2010)

[https://japio.or.jp/00yearbook/files/2010book/10\\_3\\_05.pdf](https://japio.or.jp/00yearbook/files/2010book/10_3_05.pdf)

- 6) 伊藤徹男：「化学分野の特許調査」セミナーテキスト（2006～2012年）

日本特許における特殊表記（検索 Tips 2018/8）

[http://patentsearch.punyu.jp/asia/JP\\_PATENT.pdf](http://patentsearch.punyu.jp/asia/JP_PATENT.pdf)

- 7) 特許文献

特開 2013-41421：入力文字列誤り検出装置

特開 2012-256197：表記ゆれ検出装置

特開 2011-186976：表記ゆれ解析装置

特開 2009-128968：表記ゆれ解析装置

特開 2006-053866：カタカナ文字列の表記ゆれの検出方法

特開平 06-259426：文字処理方法及び装置

特開平 11-338863：未知名詞および表記ゆれカタカナ語自動収集

特開平 03-084658：ひらがな、漢字、カタカナ文字混しりの文書を作成する文書処理

特開昭 63-025787：日本語文字列誤り検出装置

特開昭 53-123161：文字表示装置の表示誤り検出装置

以上